

検証テーマ:国際的に通用する認証体制の整備

「先端技術及びインフラ関連技術に関する認証体制の整備・強化」
(推進計画2013項目番号【44】)

取組状況

◆知財計画2013工程表【44】より

我が国が国際標準獲得を目指す戦略製品、システムについて、その安全性や性能を第三者の立場から包括的に証明でき、国際的にも通用する認証基盤の確立に向け、F/S調査などを実施。認証体制の構築に向けた、国の研究開発や国際標準化活動について、認証機関や試験機関の参画や、知見を有する公的研究機関による支援など、適切な施策を実施。

◆現在の進捗

平成24年度補正予算事業として、「グローバル認証基盤整備事業」を実施。我が国産業の国際競争力強化のため、先端技術分野及びインフラ関連技術分野など、9つの分野についてWGを発足し検討を実施中。

【参考】 グローバル認証基盤整備事業(F/S)

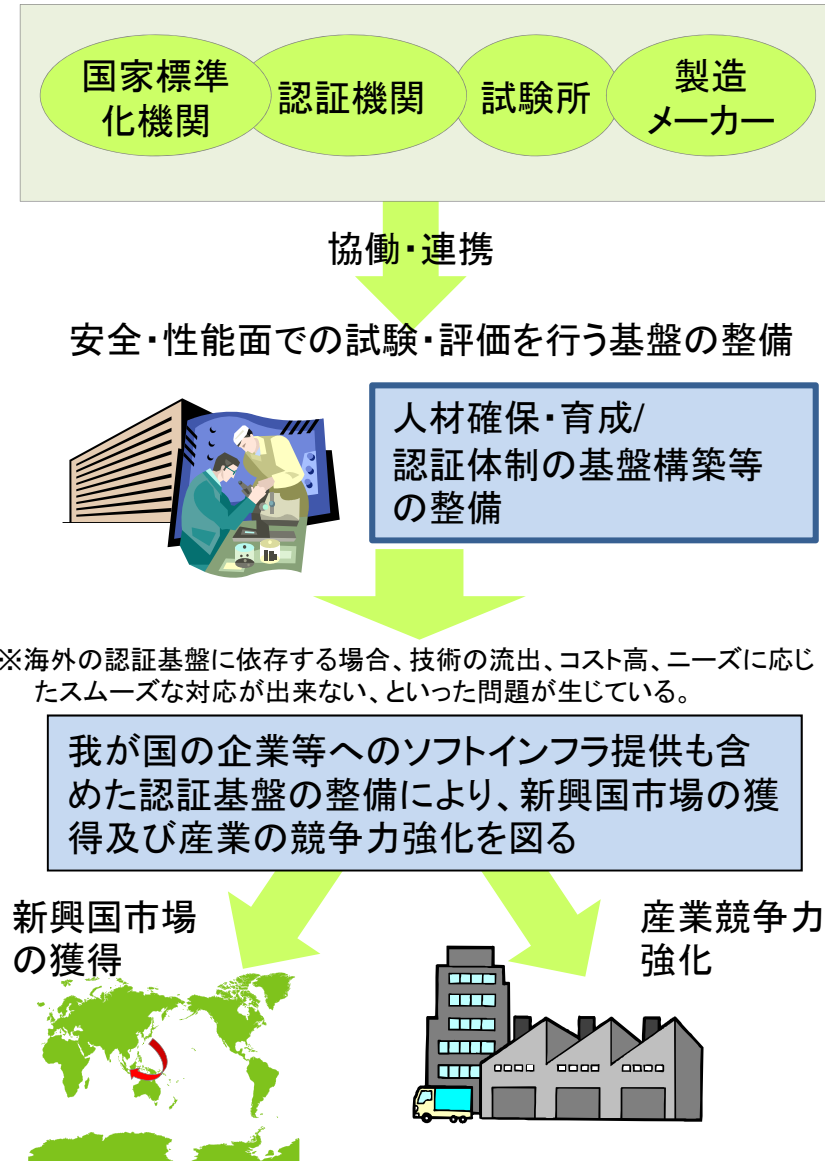
平成24年度補正予算額
5.0億円

事業の内容

事業の概要・目的

- 蓄電システム、風力、高度部素材等の戦略産業分野においては、各国が競って国際標準を獲得すると共に、認証基盤（第三者による安全性や性能等の証明）の構築を進めている。
- 特に、主要国が国際標準化活動にあわせて、国内認証システムの施設整備を急速に進めている中で、我が国国内の認証基盤については脆弱な状況。
- そのため、トップスタンダード対象分野を中心とした戦略重点分野において、製品・システムの安全性や性能を第三者の立場から包括的に証明できる国内認証体制の基盤を構築する。（認証主体の検討、評価施設の設計等ブループリントの作成）
- 加えて、アジア等新興国との評価方法の共通化や認証システム構築の協力等を通じて、海外展開を見据えた認証基盤整備を行うことにより、我が国産業の新興国市場展開を促進する。

事業イメージ



【参考】 グローバル認証基盤整備事業(F/S)

平成24年度補正予算額
5.0億円

＜現在9テーマでF/S実施中＞



①大規模分散電源関連設備
(メガワット級蓄電池・
パワーコンディショナー)



③制御システムセキュリティ



⑤大型風力発電
システム



②生活支援ロボット



④鉄道システム



⑥ファインバブル

⑦再生医療



⑧LED電球及び照明

⑨高度部素材

ロードマップと出口戦略

テーマ	2012年度	2013年度	2014年度以降の取組みと出口戦略
①大規模分散電源関連設備(メガワット級蓄電池・パワーコンディショナー)		F/S調査(WGでの検討)	諸外国における国の支援状況等を踏まえ、安全性試験等のための試験評価施設の整備や評価手法開発の検討を行う。
②生活支援ロボット	NEDOプロジェクトにおける研究開発、試験体制整備など	ISO13482規格開発(年度内見込み) 2月:福祉用ロボットのパイロット認証	安全性評価を活用した市場開拓の促進。
③制御システムセキュリティ	制御セキュリティ分野の基準認証の調査及び準備	製品認証制度の立ち上げ ISCIとのメンバーシップ締結 マネジメントシステムのパイロット認証	ニーズの掘り起こしと制度の普及。
④鉄道システム	国内認証機関による評価の実施	F/S調査(WGでの検討)	国内、海外のニーズを踏まえた対応。
⑤大型風力発電システム		F/S調査(WGでの検討)	今後、国内マーケットの需要予測等を踏まえ、認証ニーズを見極めた上で対応。
⑥ファインバブル	ISOへのTC設置・規格提案の準備	規格開発の開始 ISO TC:6月設置 12月会議開催 評価手法の研究開発	ファインバブル(超微細気泡)技術を適切に評価できる国際規格の開発や評価スキームの構築。
⑦再生医療		F/S調査(WGでの検討)	再生医療関連の周辺装置・試薬類等に関する各種基準等の国際標準化の検討。
⑧LED電球・照明	IECでの規格開発	F/S調査(WGでの検討)	LEDの性能評価試験等の国際標準化やJNLA認定試験所を活用した試験基盤の構築。
⑨高度部素材		F/S調査(WGでの検討)	将来的な認証ニーズを見極めた上で対応。

【参考】 新分野における認証例(生活支援ロボット)

企業、大学、認証機関、産総研等が一体となり、生活支援ロボットの開発、安全性に関わる基準作成及び国際標準化活動、安全性評価手法開発、認証手法の開発などを一貫通貫で実施。



- 2012年度 ISO13482のドラフト(DIS)版にて、パイロット認証を実施
- 2013年度 F/S調査において、第三者の安全性評価を活用した市場開拓の促進の可能性について検討中



ロボットスーツHAL福祉用
サイバーデザイン(株)



サービスロボット安全認証マーク
一般財団法人 日本品質保証機構